

ハンガリー

Hungary

	2013年	2014年	2015年
①人口：986万人（2015年）			
②面積：9万3,011km ²			
③1人当たりGDP：1万2,240米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	1.9	3.7	2.9
⑤消費者物価上昇率（%）	1.7	△0.2	△0.1
⑥失業率（%）	10.2	7.7	6.8
⑦貿易収支（100万ユーロ）	6,555	6,274	8,118
⑧経常収支（100万ユーロ）	4,027	2,125	4,768
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	46,389	41,901	33,020
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	92,154	89,078	86,459
⑪為替レート（1米ドルにつき、 フォリント、期中平均）	223.695	232.602	279.332

〔注〕 ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ
〔出所〕 ①②④～⑧：ハンガリー中央統計局、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：ハンガリー国立銀行

2015年のハンガリー経済は、前年の3.7%には及ばないものの、実質GDP成長率2.9%と堅調な伸びとなった。貿易は、輸出入ともに好調だった。対内直接投資は、生産や物流施設の拡張が目立った。日本との貿易は輸出入とも大幅に増加した。

■ 好調な内需により景気は回復基調

2015年のハンガリー経済は、実質GDP成長率は2.9%と、前年の3.7%には及ばなかったものの、堅調な伸びを示した。2015年夏以降、深刻化したシリア系等の難民流入問題は、特段経済に影響していない。

GDPを項目別にみると、民間最終消費支出は2.6%増と前年の1.5%増から拡大した。政府最終消費支出は0.6%増にとどまった。これはEU補助金を活用した公共事業への駆け込み需要が減少したことによる。これと連動して国内総固定資本形成も1.9%増とわずかな伸びとなった。財貨・サービスの輸出は8.4%増と拡大し、年間を通じて経済成長を支えた。

消費者物価は前年から0.1%下落した。石油価格の下落と政府による家庭向け電気・ガスなどエネルギー料金の値下げの影響が大きい。失業率は6.8%と前年の7.7%から改善した。過去3年、企業活動の活発化により改善傾向が続いている。政府は2016年の失業率を5.5%と予想している。なお、2016年2-4月の就労者数は430万人、

表1 ハンガリーの需要項目別実質GDP成長率

(単位：%)

	2014年	2015年				
		Q1	Q2	Q3	Q4	
実質GDP成長率	3.7	2.9	3.5	2.7	2.4	3.2
民間最終消費支出	1.5	2.6	2.6	2.1	2.5	3.2
政府最終消費支出	5.8	0.6	△5.6	△4.0	5.1	6.7
国内総固定資本形成	11.2	1.9	△5.5	5.0	△1.4	6.5
財貨・サービスの輸出	7.6	8.4	8.7	8.8	8.6	7.7
財貨・サービスの輸入	8.5	7.8	7.4	7.5	8.1	8.0

〔注〕 四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕 ハンガリー中央統計局

就業率は57.2%（前年同期54.9%）と上昇した。

■ 貿易黒字が大幅拡大

2015年の貿易は、輸出が前年比7.1%増の905億3,900万ユーロ、輸入が5.4%増の824億2,100万ユーロで、81億1,800万ユーロの黒字となった。黒字幅は前年比29.4%増の大幅増加だった。

輸出を主要品目別にみると、最大品目の道路走行車両（構成比17.9%）が前年比21.5%増と前年に引き続き好調だった。2015年の国内での大手自動車製造3社（スズキ、アウディ、メルセデス）の自動車生産台数合計が初めて50万台を突破したことが主因だ。電気・電子機器（12.6%）も13.5%増と好調だった。自動車関連産業の伸長が要因だ。発電機器（9.4%）も12.4%増だった。これには、アウディやオバルのエンジンが含まれる。このほか、医薬品（5.0%）が16.4%増となった。イスラエル製薬大手テバの生産拡大や、米国の製薬大手メルク・アンド・カンパニー（MSD）が中・東欧地域向けの流通センターを開設したことが主因だ。一方、科学・制御機器（2.9%）の15.3%減も目立つ。これは前年の伸長の反動で、輸出額は2013年とほぼ同水準だ。

国・地域別では、EU28向け（構成比79.1%）は716億3,900万ユーロと前年比8.3%増となった。ユーロ圏（57.8%）へは7.8%増。非ユーロ圏（21.3%）は9.8%増となった。最大輸出国ドイツ（27.3%）が6.3%増。EU域外での最大輸出先の米国（3.6%）も9.4%増と好調だった。アジア最大の輸出先国である中国（1.8%）向けの輸出は

表2 ハンガリーの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出					輸入			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
道路走行車両	13,347	16,218	17.9	21.5	電気・電子機器	9,552	10,741	13.0	12.4
電気・電子機器	10,012	11,365	12.6	13.5	道路走行車両	7,160	8,390	10.2	17.2
発電機器	7,534	8,467	9.4	12.4	通信・録音機器	4,912	5,437	6.6	10.7
通信・録音機器	6,153	6,171	6.8	0.3	一般機器	4,793	5,330	6.5	11.2
医薬品	3,871	4,507	5.0	16.4	発電機器	4,082	4,670	5.7	14.4
一般機器	4,048	4,064	4.5	0.4	医薬品	3,009	3,646	4.4	21.1
事務用機器・コンピューター	3,452	3,626	4.0	5.0	石油製品	4,941	3,280	4.0	△33.6
科学・制御機器	3,093	2,620	2.9	△15.3	金属製品	2,640	2,885	3.5	9.3
雑製品	2,137	2,387	2.6	11.7	事務用機器・コンピューター	2,515	2,701	3.3	7.4
金属製品	1,961	2,134	2.4	8.8	雑製品	2,301	2,559	3.1	11.2
ゴム製品	1,788	1,984	2.2	11.0	ガス	3,077	2,040	2.5	△33.7
穀物及び穀物調製品	1,452	1,641	1.8	13.0	鉄鋼	2,197	1,985	2.4	△9.7
合計(その他含む)	84,506	90,539	100.0	7.1	合計(その他含む)	78,232	82,421	100.0	5.4

[注] EU域外貿易は通関ベース(輸出はFOB、輸入はCIF)、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ハンガリー中央統計局

表3 ハンガリーの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU28	66,137	71,639	79.1	8.3	58,901	63,057	76.5	7.1
ユーロ圏	48,532	52,314	57.8	7.8	45,407	48,357	58.7	6.5
ドイツ	23,229	24,692	27.3	6.3	19,837	21,393	26.0	7.8
イタリア	3,888	4,215	4.7	8.4	3,486	3,754	4.6	7.7
フランス	3,813	4,188	4.6	9.9	3,712	4,137	5.0	11.5
非ユーロ圏	17,605	19,325	21.3	9.8	13,494	14,700	17.8	8.9
チェコ	3,200	3,526	3.9	10.2	3,559	3,961	4.8	11.3
英国	3,051	3,511	3.9	15.1	1,353	1,536	1.9	13.5
ポーランド	3,205	3,383	3.7	5.6	4,068	4,544	5.5	11.7
アジア大洋州	3,435	4,079	4.5	18.8	7,838	9,461	11.5	20.7
中国	1,607	1,624	1.8	1.0	3,829	4,735	5.7	23.7
日本	528	750	0.8	42.1	916	1,133	1.4	23.7
ASEAN	420	488	0.5	16.2	1,117	1,339	1.6	19.9
シンガポール	156	177	0.2	13.2	383	301	0.4	△21.4
タイ	69	77	0.1	10.8	283	380	0.5	34.5
韓国	253	437	0.5	72.8	1,065	1,289	1.6	21.0
オーストラリア	319	394	0.4	23.6	19	35	0.0	82.0
インド	157	194	0.2	23.1	287	329	0.4	14.8
北米 (NAFTA)	3,671	4,033	4.5	9.9	1,742	1,989	2.4	14.1
米国	2,967	3,247	3.6	9.4	1,505	1,689	2.0	12.2
中東	2,381	2,698	3.0	13.3	1,080	1,272	1.5	17.8
トルコ	1,592	1,796	2.0	12.9	521	693	0.8	32.9
湾岸協力会議(GCC)諸国	374	452	0.5	20.7	96	36	0.0	△64.4
ロシア	2,126	1,543	1.7	△27.4	5,423	3,284	4.0	△39.4
ウクライナ	1,567	1,262	1.4	△19.5	1,278	1,021	1.2	△20.1
中南米	911	1,072	1.2	17.7	301	418	0.5	38.7
ブラジル	255	244	0.3	△4.2	116	182	0.2	56.7
アフリカ	1,028	981	1.1	△4.6	93	117	0.1	25.7
エジプト	225	243	0.3	7.8	17	18	0.0	3.6
合計(その他含む)	84,506	90,539	100.0	7.1	78,232	82,421	100.0	5.4

[注] ①アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に台湾を加えた合計値。②EU域外貿易は通関ベース(輸出はFOB、輸入はCIF)、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ハンガリー中央統計局

1.0%増と振るわなかった。中国経済の低迷が響いた。ロシア、ウクライナ向けは、それぞれ27.4%減、19.5%減となった。経済制裁や政治経済の混乱の影響で農産品など

の輸入額が前年比11倍となったことも大きい。石油製品(4.0%)は33.6%減だった。石油価格の下落による。石油価格に連動するガス(2.5%)も価格下落と暖冬の影響で

が減少した。

道路走行車両の国別輸出をみると、最大の輸出先であるドイツ(構成比38.2%)が17.4%増。次いで米国(5.5%)が22.3%増と伸びた。アジア向け輸出の伸長も著しい。日本(2.0%)向けが2.2倍、韓国(0.7%)も2.1倍、中国(2.6%)も66.4%増と前年に続き伸びた。

輸入を品目別に見ると、最大品目の電気・電子機器(構成比13.0%)が12.4%増。次いで道路走行車両(10.2%)が17.2%増となった。自動車の生産増加に伴う部品の輸入増と、新車市場の回復による。通信・録音機器(6.6%)は前年までの減少傾向から一転、10.7%増となった。医薬品(4.4%)も21.1%増と伸びた。MSDの中・東欧地域流通センターの本格稼働が一因だ。また、医薬品メーカー、ウシン進出に伴う流通センター開設により、韓国からの医薬品

33.7%減だった。

国・地域別では、EU28（構成比76.5%）からの輸入は7.1%増。ユーロ圏（58.7%）の伸びは6.5%増。非ユーロ圏（17.8%）からの輸入は8.9%増だった。

最大輸入先のドイツ（構成比26.0%）は前年比7.8%増。フランス（5.0%）は11.5%増となった。最大の輸入品目である医薬品の15.9%増が主因。フランス系製薬大手エジストとサノフィが製造拠点をハンガリーに設置しているためだ。ポーランド（5.5%、11.7%増）、チェコ（4.8%、11.3%増）、英国（1.9%、13.5%増）が2桁増となった。アジア大洋州（11.5%）からの輸入は20.7%増。特に、日本（1.4%）が23.7%増、中国（5.7%）が23.7%増、韓国（1.6%）が21.0%増と20%台の伸びが注目される。

■対内投資は減少

2015年は新規や追加投資が公表されている。自動車関連ではアウディやメルセデス、ポッシュ、コンチネンタル（いずれもドイツ）、ミシュラン（フランス）、サンバルダナ・マザーソン（インド）など。通信分野ではノキア（フィンランド）だ。ただし、2015年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は10億1,100万ユーロと前年比78.9%減だった。ハンガリー国立銀行は、企業収益の改善による配当金の支払い、借入金の返済など、引き揚げ要因が重なった影響が大きいとしている。

分野別では、自動車・輸送機器分野でも引き揚げ超過だった。アウディ、メルセデスは配当金支払いや借入金の返済などを行った。医薬品分野も、引き揚げ超過だった。一方、情報・通信分野は、前年比5倍強の伸びとなった。中国通信機器大手ファーウェイ（華為技術）の地域技術開発拠点化、ノルウェー通信大手テレノール社のサービスセンターの拡張、ノキアのR&Dセンターの拡張による。

国別では、EU28からの投資が83.6%減と大幅に減少した。ドイツなどからの投資が引き揚げ超過となったのは、

表4 ハンガリーの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2014年	2015年		2014年	2015年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
サービス	3,291	1,635	△50.3	1,300	1,044	△19.7
情報・通信	149	803	438.9	262	37	△86.0
運輸・倉庫	31	311	915.5	△4	12	-
専門的活動	378	179	△52.6	△81	53	-
化学	△13	148	-	△14	5	-
ホテル・飲食業	4	63	1,634.1	3	△2	-
金融・保険	2,045	△169	-	584	934	60.0
不動産	△42	△254	-	13	27	108.0
電気・ガス・冷暖房供給	△501	129	-	3	17	518.1
農業	52	43	△16.0	△12	0	-
鉱業	△1	26	-	252	130	△48.4
製造業	1,889	△858	-	376	145	△61.5
食品・飲料、たばこ	△51	63	-	3	3	△17.2
繊維・アパレル	22	36	59.8	△1	1	-
木材、製紙	111	95	△13.9	6	△3	-
化学	△13	148	-	△14	5	-
医薬品	189	△251	-	269	142	△47.2
ゴム・プラスチック	193	89	△54.0	19	9	△52.8
金属製品	128	△42	-	6	1	△78.8
コンピューター・電気機器・光学製品	275	118	△57.1	101	58	△42.1
合計（その他含む）	4,790	1,011	△78.9	1,821	1,229	△32.5

〔出所〕ハンガリー国立銀行

表5 ハンガリーの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2014年	2015年		2014年	2015年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU28	3,398	558	△83.6	1,095	558	△49.1
ユーロ圏	3,518	△406	-	766	335	△56.3
オーストリア	1,106	656	△40.7	4	△29	-
イタリア	206	△120	-	△31	△54	-
ドイツ	771	△393	-	7	△13	-
非ユーロ圏	△120	964	-	329	223	△32.2
デンマーク	213	77	△63.7	0	0	-
スウェーデン	△65	75	-	1	0	△99.9
クロアチア	20	37	86.2	73	134	85.0
中東	15	838	5,407.1	169	163	△3.3
ウクライナ	60	70	17.1	168	240	42.5
アフリカ	460	2	△99.7	1	0	-
アジア大洋州	565	△20	-	4	29	646.8
韓国	139	133	△4.3	11	7	△33.8
マレーシア	25	30	20.2	△2	0	-
中国	103	19	△81.2	3	1	△76.4
オーストラリア	△3	7	-	4	△5	-
日本	66	△40	-	1	△1	-
インド	34	△143	-	0	0	-
ロシア	88	△29	-	43	36	△14.6
中南米	△2	△83	-	242	258	6.3
ブラジル	13	6	△54.5	17	△19	-
北米（NAFTA）	98	△340	-	30	7	△78.8
米国	321	190	△40.8	355	△55	-
合計（その他含む）	4,790	1,011	△78.9	1,821	1,229	△32.5

〔出所〕ハンガリー国立銀行

ドイツのエネルギー大手エーオン傘下のパルルガスの株式50%を国有電力会社MVMに売却したのが主因だ。高級自動車製造メルセデスが2014年の利益配当金をドイツ本社に送金したことも影響した。イタリアも引き揚げ超

表6 ハンガリーの主な対内直接投資事例（2015年）

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
自動車部品	アウディ	ドイツ	2015年10月	320億フォロント (1億300万ユーロ)	環境配慮型エンジン生産のため追加投資。雇用創出380人。
自動車部品	サンバルダナ・マザーソン	インド	2015年8月	300億フォロント (9,700万ユーロ)	ダイムラー向けバンパー製造工場(敷地面積10万㎡)の建設を2017年までに完了する計画。雇用創出400-500人。
通信	ノキア	フィンランド	2015年6月	5,500万ユーロ	R&Dセンター(床面積2万5000㎡)を2年以内に完成予定。
紙製品	テトラ パック	スウェーデン	2015年6月	140億フォロント (4,500万ユーロ)	紙パッケージ生産能力増強のため追加投資。雇用創出45人。
タイヤ	ミシュラン	フランス	2015年3月	4,000万ユーロ	高性能タイヤ生産能力増強のための追加投資。100人の雇用創出。
自動車部品	シェフラーグループ	ドイツ	2015年3月	120億フォロント (3,900万ユーロ)	自動車用ボールベアリング製造。生産や物流機能増強のため追加投資。雇用創出72人
自動車部品	ロバート・ボッシュ	ドイツ	2015年9月	93億フォロント (2,000万ユーロ)	自動車用スターターモーターや電子部品生産能力拡大のため追加投資。雇用創出425人。
自動車部品	コンチネンタル	ドイツ	2015年11月	51億フォロント (1,600万ユーロ)	自動車用ショックアブソーバー生産能力増強やタービン製造開始のため追加投資。雇用創出681人。
自動車	ダイムラー	ドイツ	2015年12月	1,500万ユーロ	物流、生産能力改善のため追加投資。部品移動にロボット活用。
自動車部品	日本発条 (NHKスプリング)	日本	2015年3月	n.a.	自動車用コイルばね、スタビライザ製造工場の建設を発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

過となった。イタリア石油大手ENI傘下のアジップのガソリンスタンドをハンガリーの石油大手MOLに売却したためだ。アジア大洋州では、日本やインドの引き揚げ幅が大きく、韓国製薬のウシンの欧州流通センター開設など増加要因を打ち消した。

表7 ハンガリーの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
道路走行車両	148	321	42.8	116.9	発電機器	161	236	20.8	46.3
肉類	99	105	14.1	6.2	道路走行車両	158	194	17.1	22.2
事務機器・コンピューター	43	56	7.4	29.7	電気・電子機器	145	188	16.6	29.9
発電機器	27	40	5.3	46.9	通信・録音機器	103	106	9.3	2.6
一般機械	39	34	4.6	△12.8	一般機械	88	87	7.7	△0.0
電気・電子機器	23	30	4.1	34.8	特殊産業用機械	34	53	4.7	55.0
医薬品	30	29	3.8	△5.8	非金属鉱物製品	33	40	3.6	21.3
有機化学品	21	25	3.3	17.9	金属製品	47	38	3.3	△18.7
科学・制御機器	29	24	3.2	△17.5	科学・制御機器	13	26	2.3	98.2
通信・録音機器	10	22	2.9	111.6	金属加工機械	15	26	2.3	78.0
合計(その他含む)	528	750	100.0	42.1	合計(その他含む)	916	1,133	100.0	23.7

〔出所〕ハンガリー中央統計局

■対日自動車輸出が好調

2015年の対日輸出は前年比42.1%増の7億5,000万ユーロ、輸入は23.7%増の11億3,300万ユーロ、対日貿易赤字は3億8,300万ユーロだった。

輸出は、最大品目である道路走行車両(構成比42.8%)が前年比2.2倍と好調だった。マジャールズズキの新型車ビターラ(日本名エスクード)の日本向け輸出が開始されたことが主因だ。肉類(同14.1%)は6.2%増だった。2004年にハンガリーで“食べる国宝”として認定されたマンガリッツア豚も好評だ。

輸入は、発電機器(構成比20.8%)が46.3%増と大きく伸びた。これはマジャールズズキの自動車生産台数が前年から39,000台増加し、エンジンの輸入が増えたため。また、自動車市場の回復から道路走行車両(17.1%)も

22.2%増となった。製造業の新規・追加投資により、特殊産業用機械(4.7%)が55.0%増、科学・制御機器(2.3%)が98.2%増となった。

■自動車分野を中心に新規、追加投資を行う日本企業

ジェットロ・ブダペスト事務所の調査によると、ハンガリーにおける日系企業は151社(2016年5月時点)。

2015年3月に日本発条が欧州における受注増加に対応するため、自動車用コイルばね、スタビライザ製造の生産会社をハンガリーに設立すると発表した。10月には住友重機械工業の子会社、住友(SHI)デマークも拠点設立を発表した。製造業以外では、12月に三井倉庫インターナショナルが拠点開設を発表した。